

令和3年度から始まった 「大阪府独自の学力テスト」

「すくすくウォッチ」は、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力及び問題発見・解決能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的としています。

	わくわく問題	国語	算数	理科	児童アンケート
5年生	○	○	○	○	○
6年生	○	×	×	○	○



5年生はわくわく問題・
国語・算数・理科・が
6年生はわくわく問題・理科
があるんだね。
6年生は、全国学力・学習状
況調査で理科が実施されない
年に限り、理科が実施される
よ。

わくわく問題（教科横断型問題）【5・6年生】

- ・文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読んで、自分の考えを書くなどの問題です。
- ・答えは、記号を選んだり、文章をかいたり、図をぬったり、絵をかいたりします。答えが一つでないものもあります。

大阪府教育委員会 保護者リーフレットより

わくわく問題は国語、算数という1つの教科でなく、**いろいろな教科にまたがった総合的な問題**なんだね。

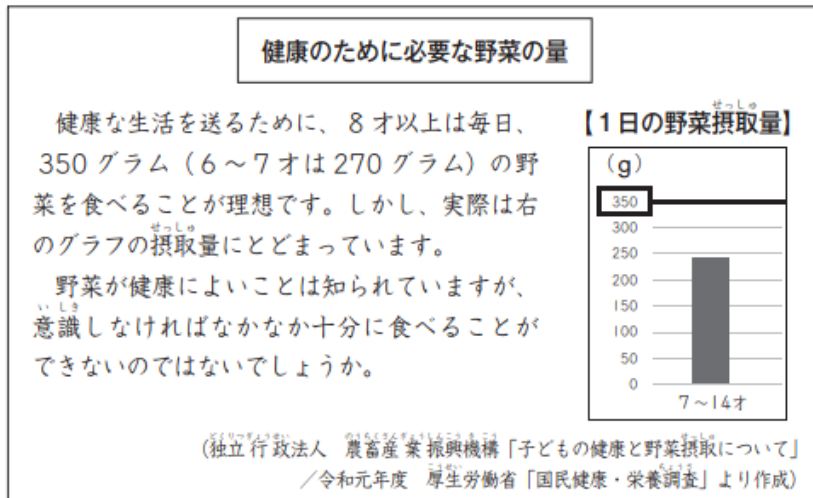




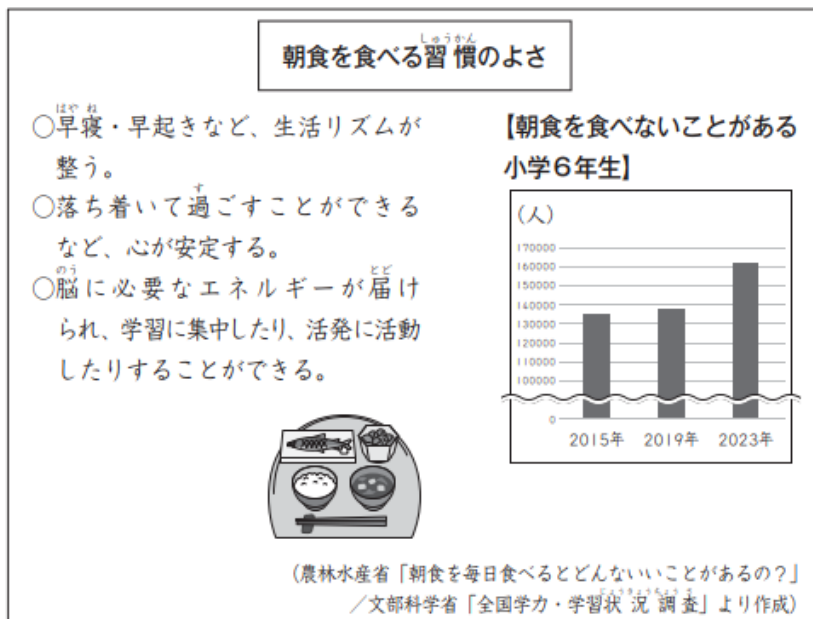
大阪府の小学生が 挑んだわくわく問題です！ (5・6年生共通の問題です。)

- (3) さらに、あかねさんたちが食について調べていると、次の資料4から資料6を見つけました。

資料4



資料5



問題は次ページ
に続くよ。



資料6

食品ロス：まだ食べられるのに捨てられる食品

日本では、売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、まだ食べられる食品が1年間にゴミとして、約523万トン捨てられています。

これは、1人あたり、毎日約114グラム（おにぎり1個分）の食品を捨てていることになる量です。

また、ゴミとして燃やすと二酸化炭素が出ることや、燃やした後の灰を埋める土地も必要になることなど、環境にも悪い影響があります。



（農林水産省「食品ロスって何が問題なの？」より作成）



あかね

食について、わたしたちが考えなければならないことは、いろいろあるね。それをみんなに伝えるために、ポスターをかくのはどうかな。

絵だけでなく、言葉もかくとわかりやすいよね。



はると

問い あなたは、資料4から資料6を見て、どのようなことを伝えなければならないと考えますか。また、みんなに伝えるために、どんなポスターをかきますか。次の【条件】に合わせて、かきましょう。

条件 ①もとにする資料を資料4から資料6の中から1つ（2つ以上でもかまいません）選びましょう。

②「伝えたい内容」のらんに、伝えたいことを、文章で具体的に書きましょう。

③「ポスター」のわくに、絵や言葉を使って工夫してかきましょう。

解答例は最後のページにあるよ

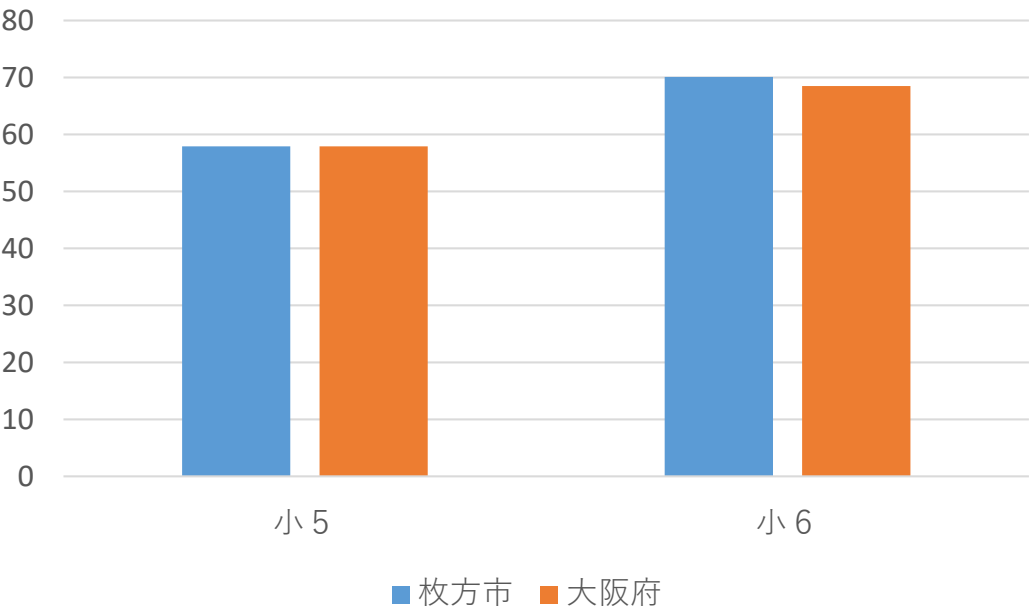


令和6年度 すくすくウォッチの結果<わくわく問題>

平均正答率

学年	枚方市	大阪府
小5	57.9	57.9
小6	70.1	68.5

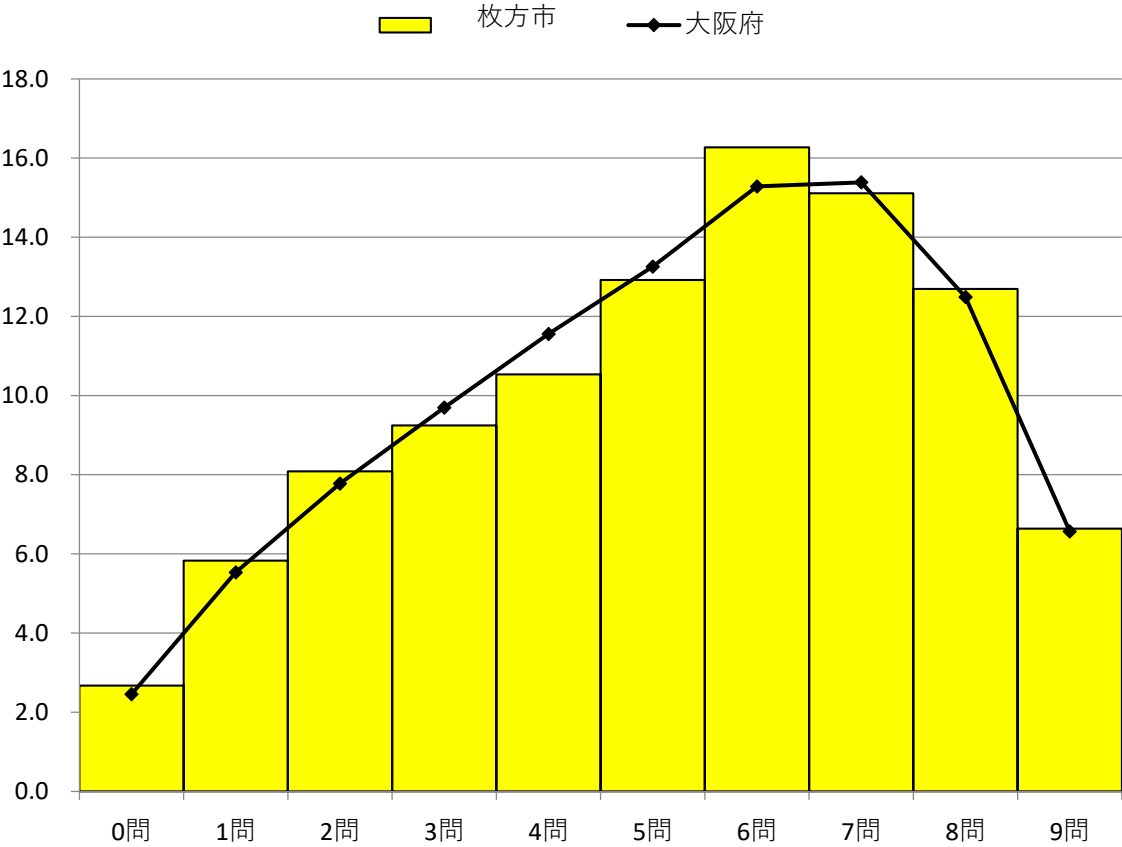
結果の推移
(対大阪府)



今年のわくわく問題については、5年生が大阪府の平均と同じであるが、6年生は上回っている。

令和6年度 すくすくウォッチの結果<小5わくわく問題>

正答数分布
グラフ



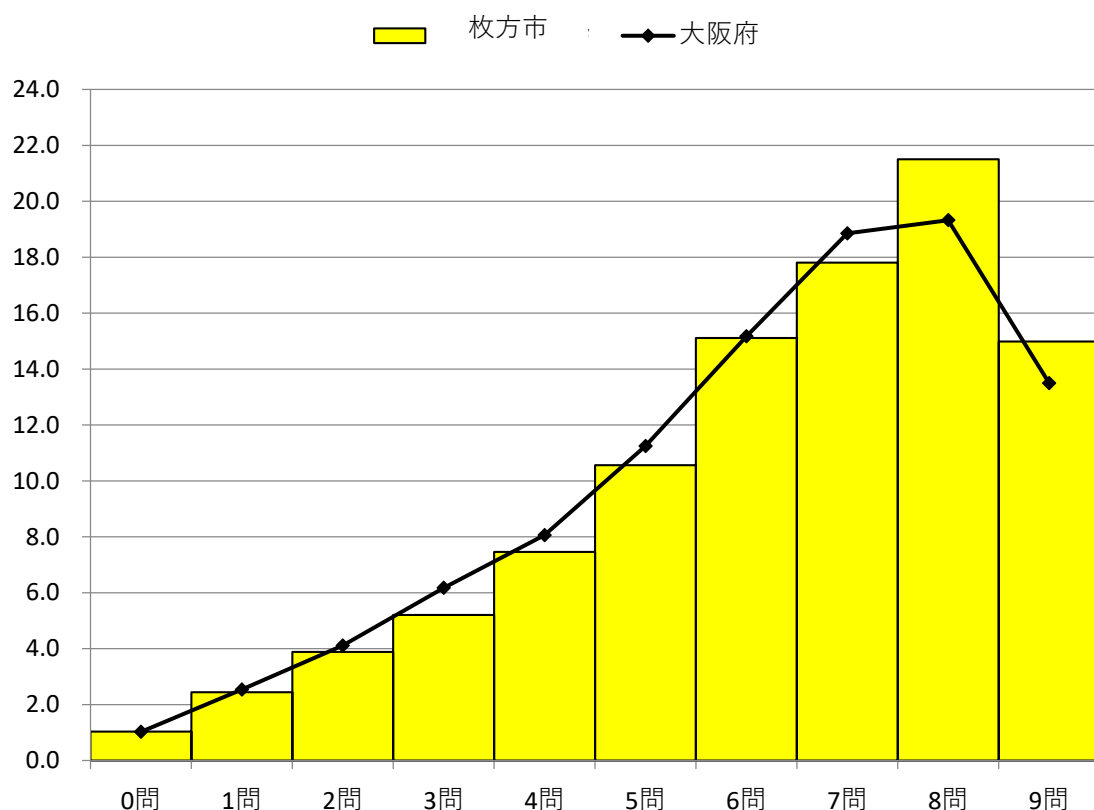
分類・区別
集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			枚方市	大阪府
観点	全体	9	57.9	57.9
	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	4	61.0	60.5
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	5	51.1	50.4
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	2	69.0	62.8
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	67.5	68.8
	E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	76.7	80.7
問題をとらえる	文章から読み取る	6	60.7	61.1
	会話から読み取る	3	52.3	51.6
	図や表から読み取る	7	54.5	54.6
伝える	資料の情報を整理して伝える	7	56.5	56.5
	自身で考えたことを伝える	3	67.5	68.8
	理由や根拠を明確にして伝える	2	69.0	62.8
問題形式	選択	5	52.6	52.2
	図表	1	76.7	80.7
	記述	4	64.5	65.0

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

令和6年度 すくすくウォッチの結果<小6わくわく問題>

正答数分布
グラフ



分類・区分別
集計結果

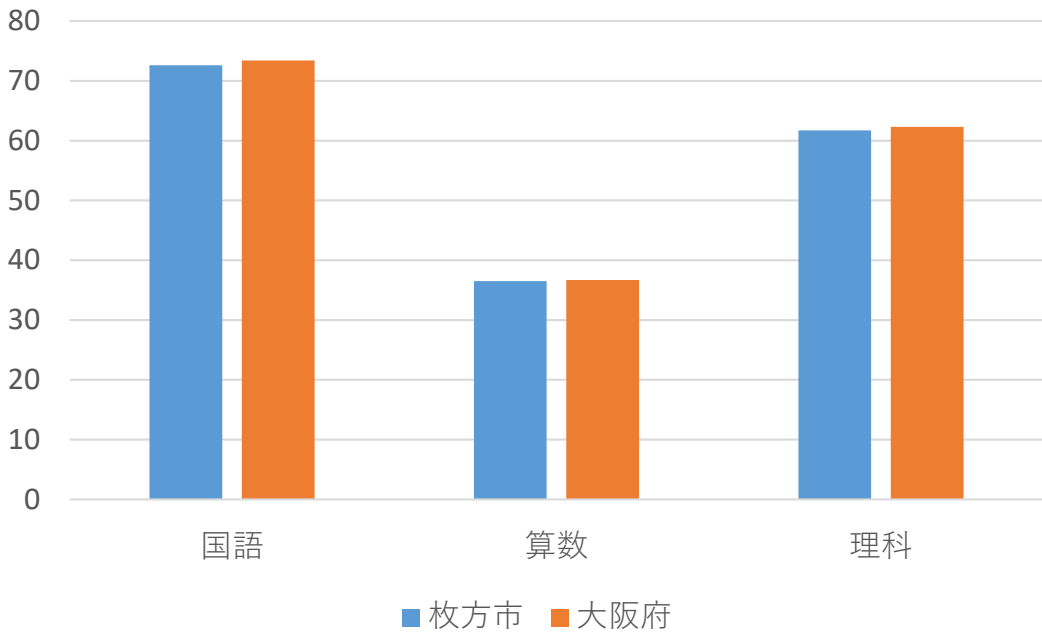
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			枚方市	大阪府
観点	全体	9	70.1	68.5
	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	4	72.9	70.7
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	5	64.3	62.5
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	2	75.4	74.6
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	3	79.9	79.7
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	1	88.7	89.9
問題をとらえる	文章から読み取る	6	73.2	71.8
	会話から読み取る	3	63.8	62.1
	図や表から読み取る	7	67.4	65.7
伝える	資料の情報を整理して伝える	7	68.5	66.8
	自身で考えたことを伝える	3	79.9	79.7
	理由や根拠を明確にして伝える	2	75.4	74.6
問題形式	選択	5	64.0	61.9
	図表	1	88.7	89.9
	記述	4	77.7	76.9

※1つの問題が複数の区分に該当することがあります。

平均正答率

小5	枚方市	大阪府
国語	72.6	73.4
算数	36.5	36.7
理科	61.7	61.9

結果の推移
(対大阪府)



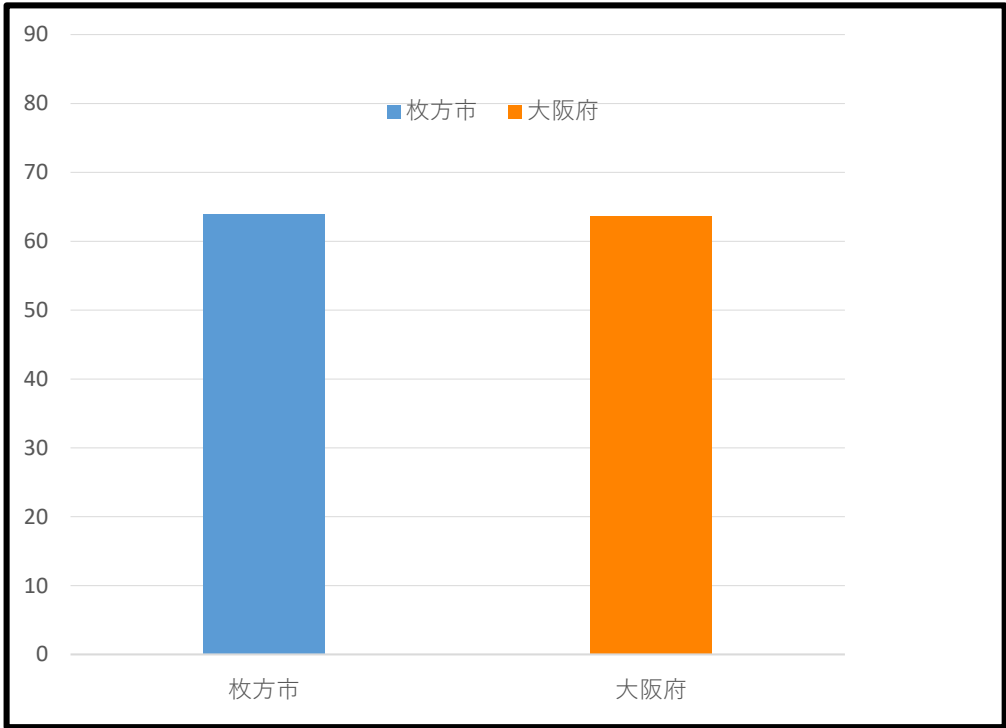
国語においては、大阪府の平均を下回っている。
算数においては、大阪府の平均とほぼ同様。
理科においては大阪府の平均とほぼ同様。

令和6年度 すくすくウォッチの結果<小6理科>

平均正答率

小6	枚方市	大阪府
理科	64.0	63.7

結果の推移
(対大阪府)



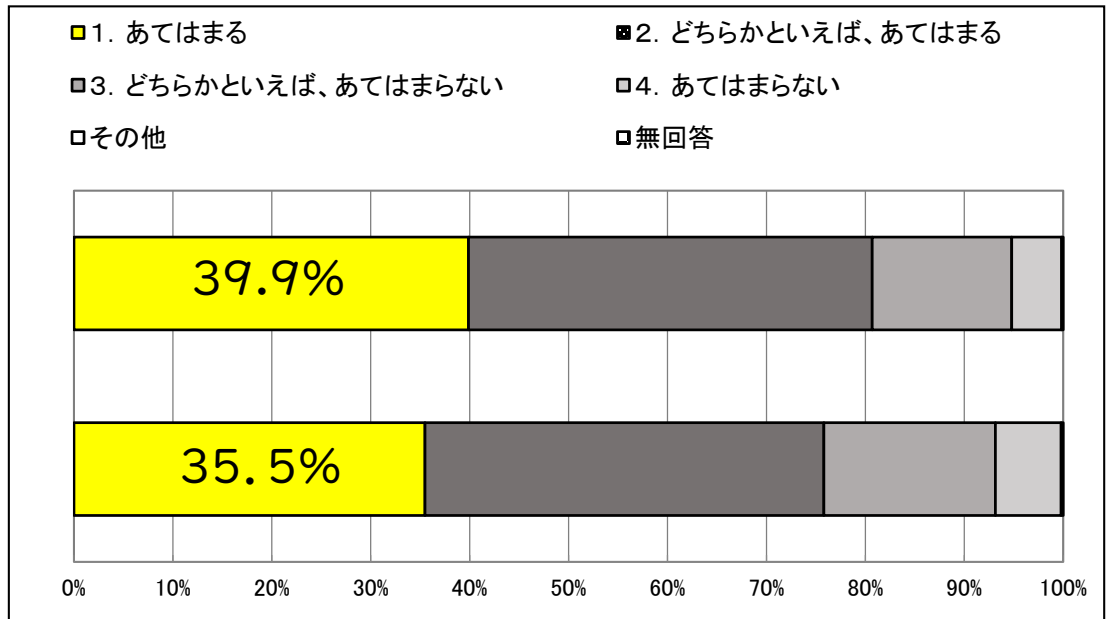
小6理科においては大阪府の平均をやや上回っている。

その時間に学んだことについて、ふり返りをしている。

枚方市

大阪府

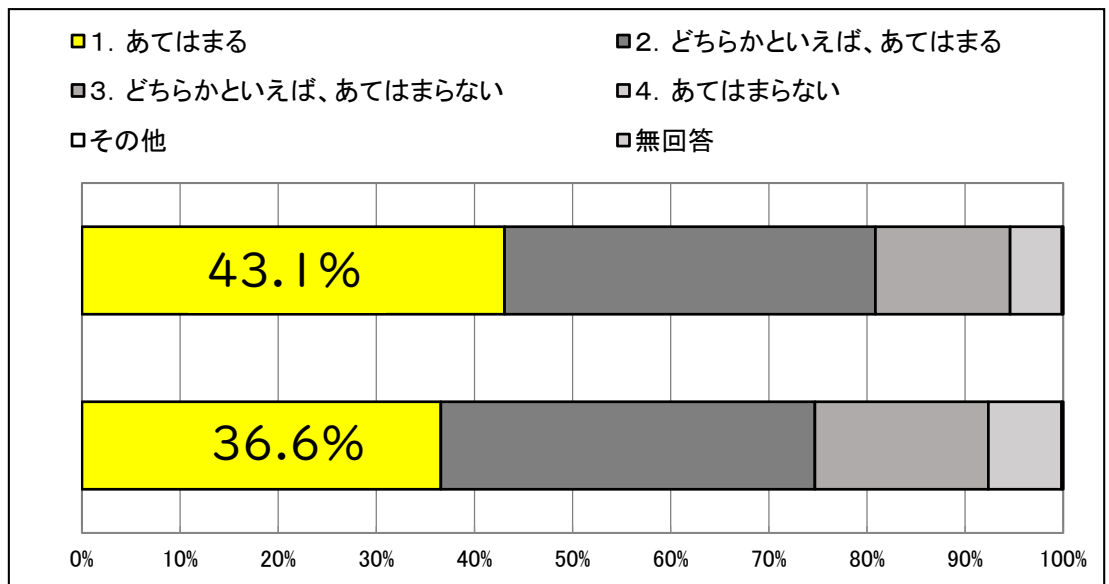
五年生



枚方市

大阪府

六年生



「あてはまる」対大阪府との比較

5年生+4.4P

6年生+6.5P

大阪府を大きく上回っている

令和6年度 すくすくウォッチの結果<児童アンケート>

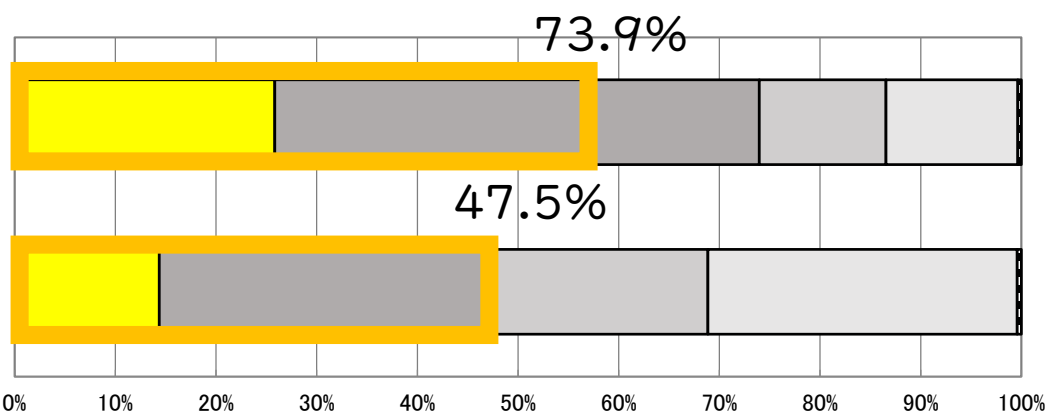
授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか。

五年生

枚方市

大阪府

■1. ほぼ毎日 ■2. 週1回ぐらい ■3. 月1回ぐらい ■4. ほとんどやっていない ■その他 ■無回答

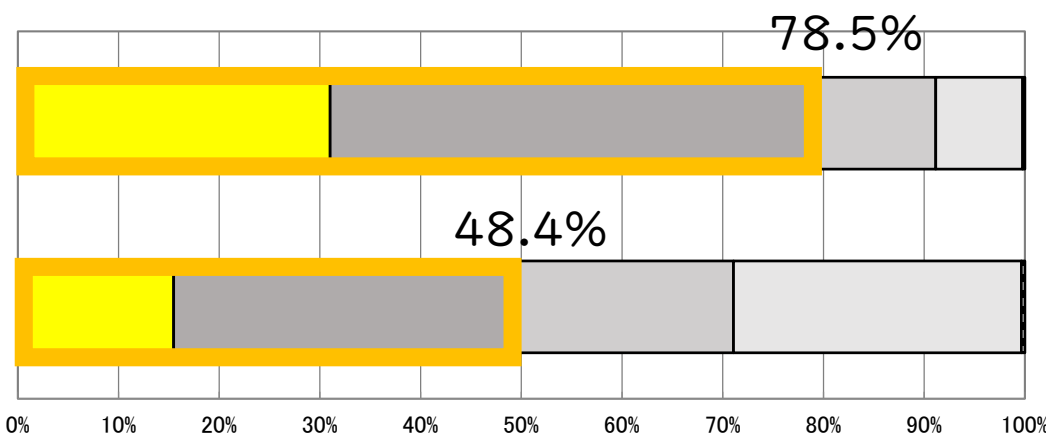


六年生

枚方市

大阪府

■1. ほぼ毎日 ■2. 週1回ぐらい ■3. 月1回ぐらい ■4. ほとんどやっていない ■その他 ■無回答



「ほぼ毎日」「週1回ぐらい」対大阪府との比較

5年生+26.4P

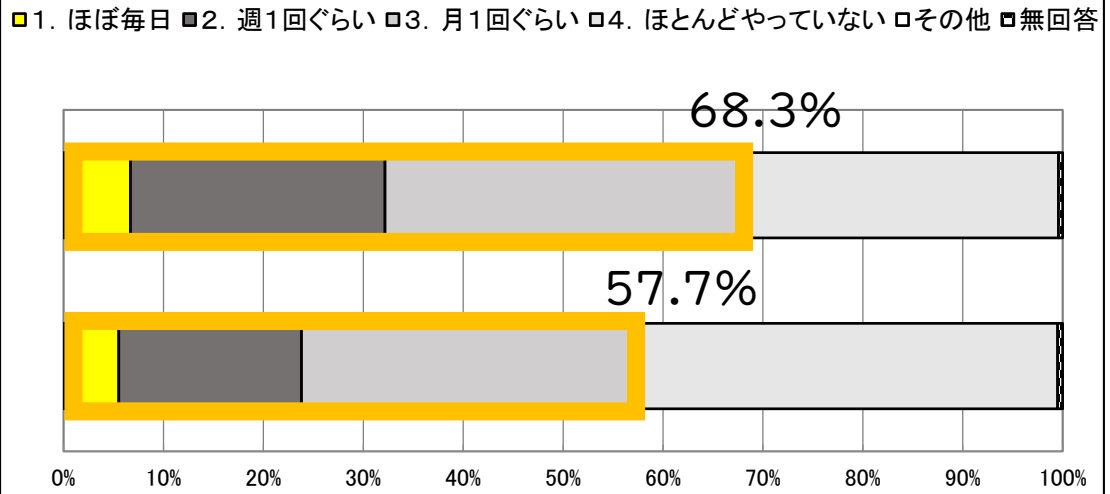
6年生+30.1P

大阪府を大きく上回っている

授業で、コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表することはどれくらいありますか。

枚方市

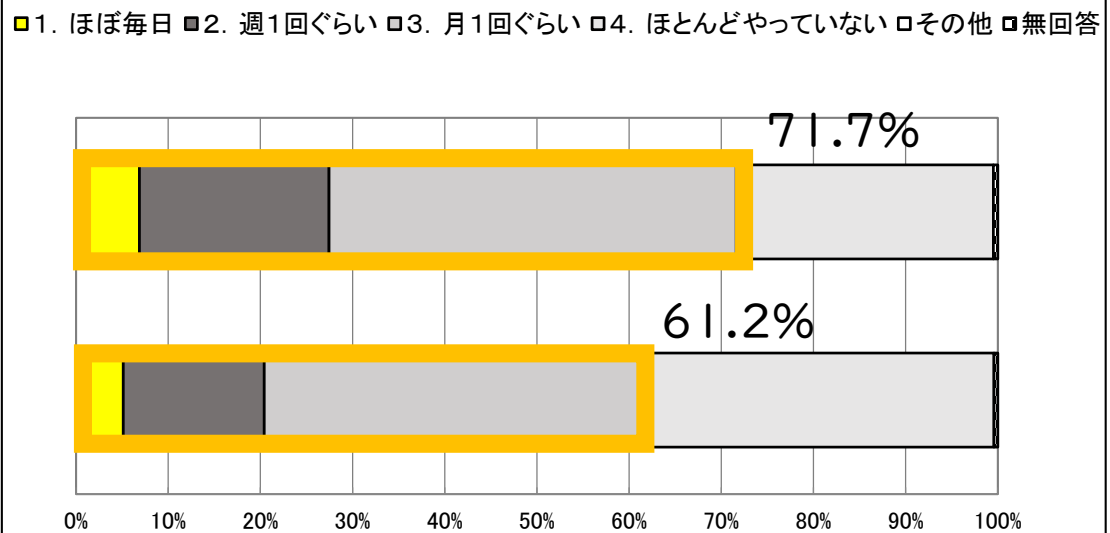
大阪府



六
年
生

枚方市

大阪府



「ほぼ毎日」「週1回」「月1回ぐらい」対大阪府との比較

5年生+10.6P

6年生+10.5P

大阪府を大きく上回っている

クロス集計とは、アンケート結果などのデータを集計する時に、2つ以上の観点でまとめる統計手法のことです。

ここからは、設問と設問のクロス集計を行い、設問間の関連を分析しました。

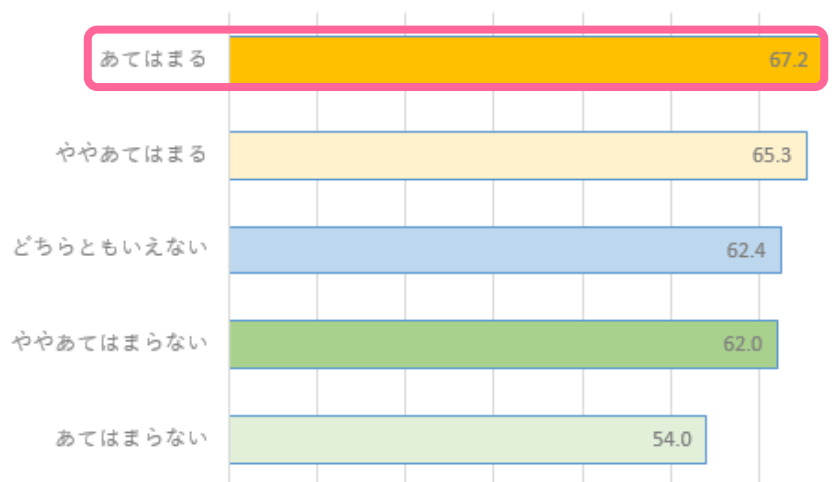


②

わくわく問題正答率

①

難しいことがあっても、あきらめ
ない。



【見方】

赤い□で囲んだ部分は、①の設問について「当てはまる」と回答した児童の「わくわく問題」での正答率を示しています。

このように、「あてはまる」等肯定的な回答であるほど、正答率が高いことが分かります。

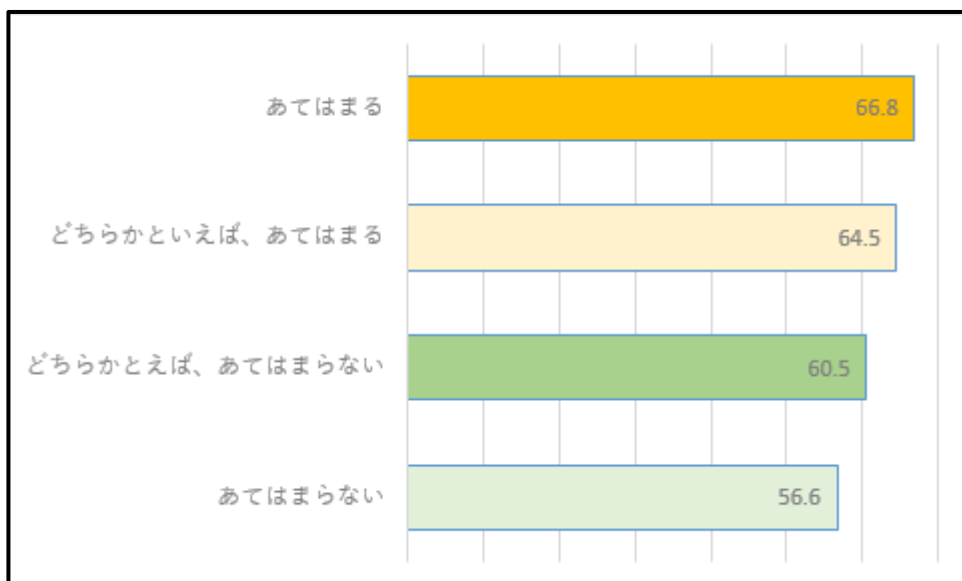




枚方市が大阪府平均を大きく上回っているこれらの項目はわくわく問題の正答率との関係が深いんだね。

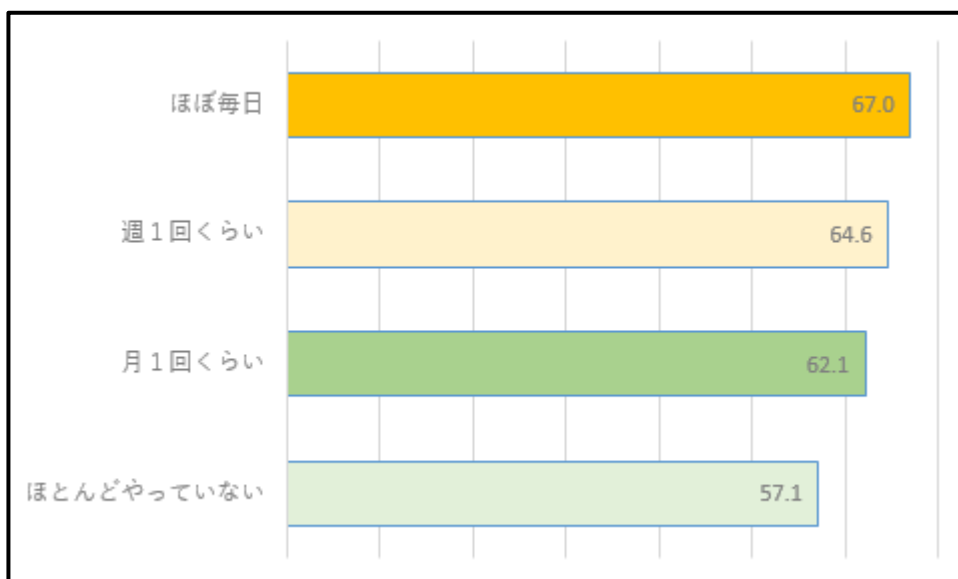
わくわく問題正答率

その時間に学んだことについて、振り返りをしている。



わくわく問題正答率

授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか。

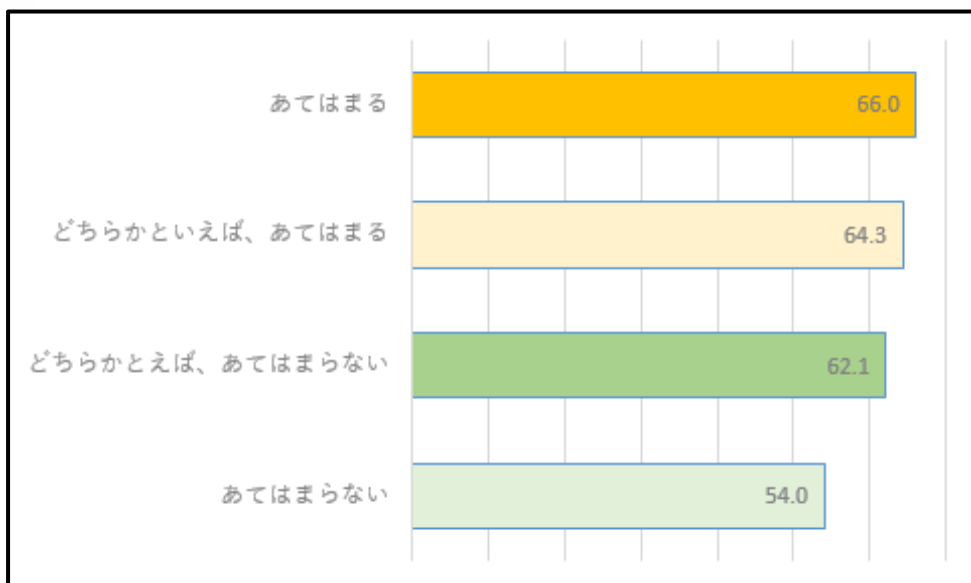




授業でめあてを意識することや
自分の考えを書くことも関係が
あるんだね。

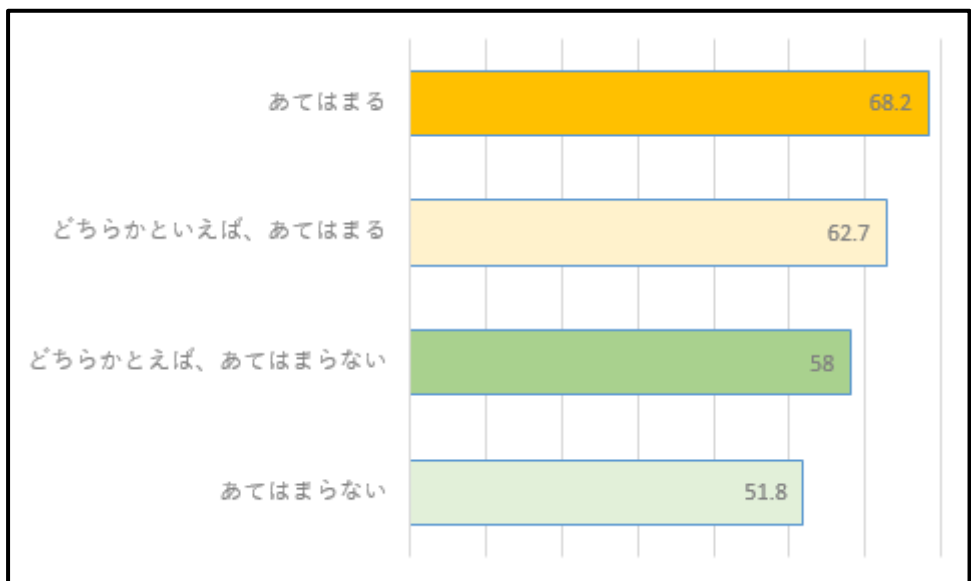
わくわく問題正答率

その時間のめあてを意識している。



わくわく問題正答率

自分の考えをノート等に
書いている

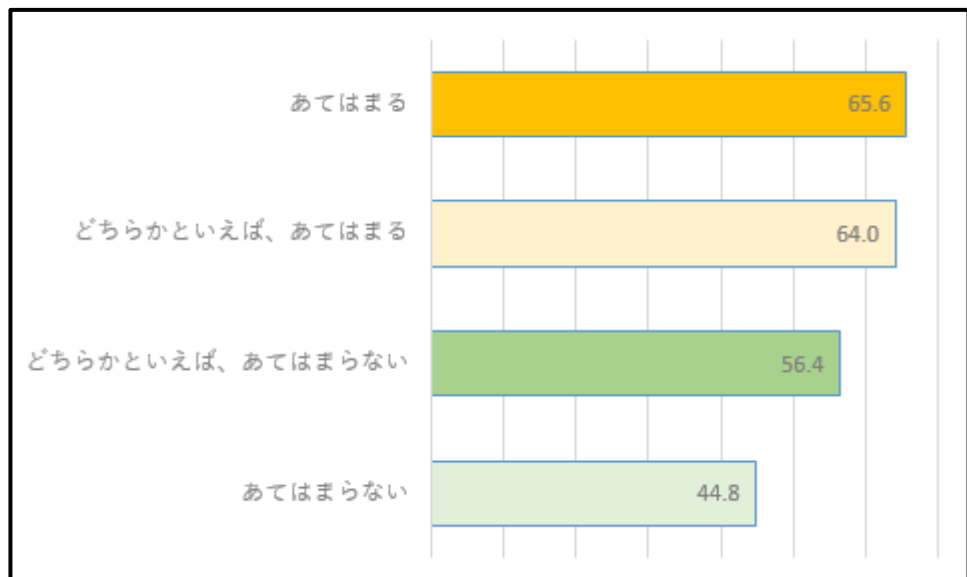




話し合いをしっかりとすることも関係があるんだね。

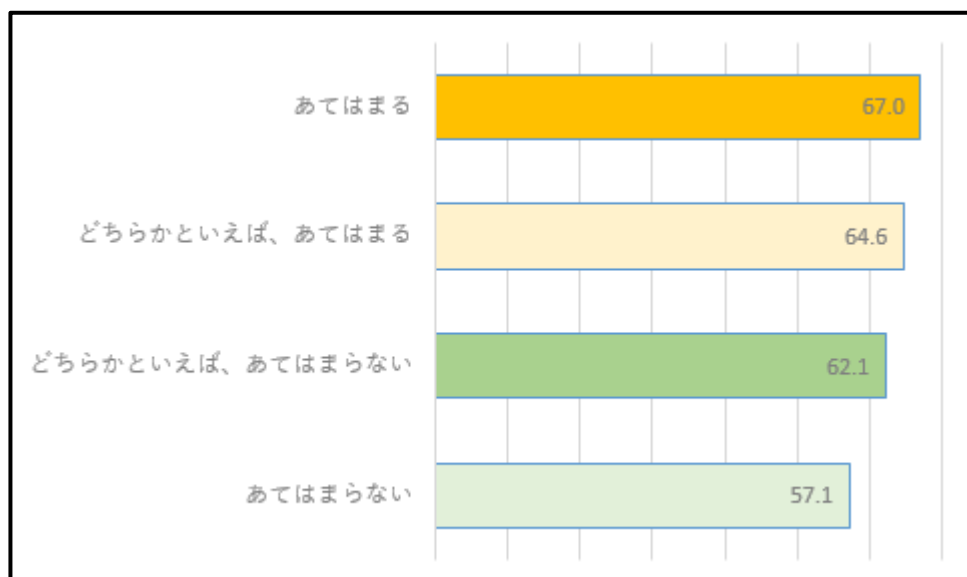
わくわく問題正答率

話し合いをするとき、友達の意見を最後まで聞いている。

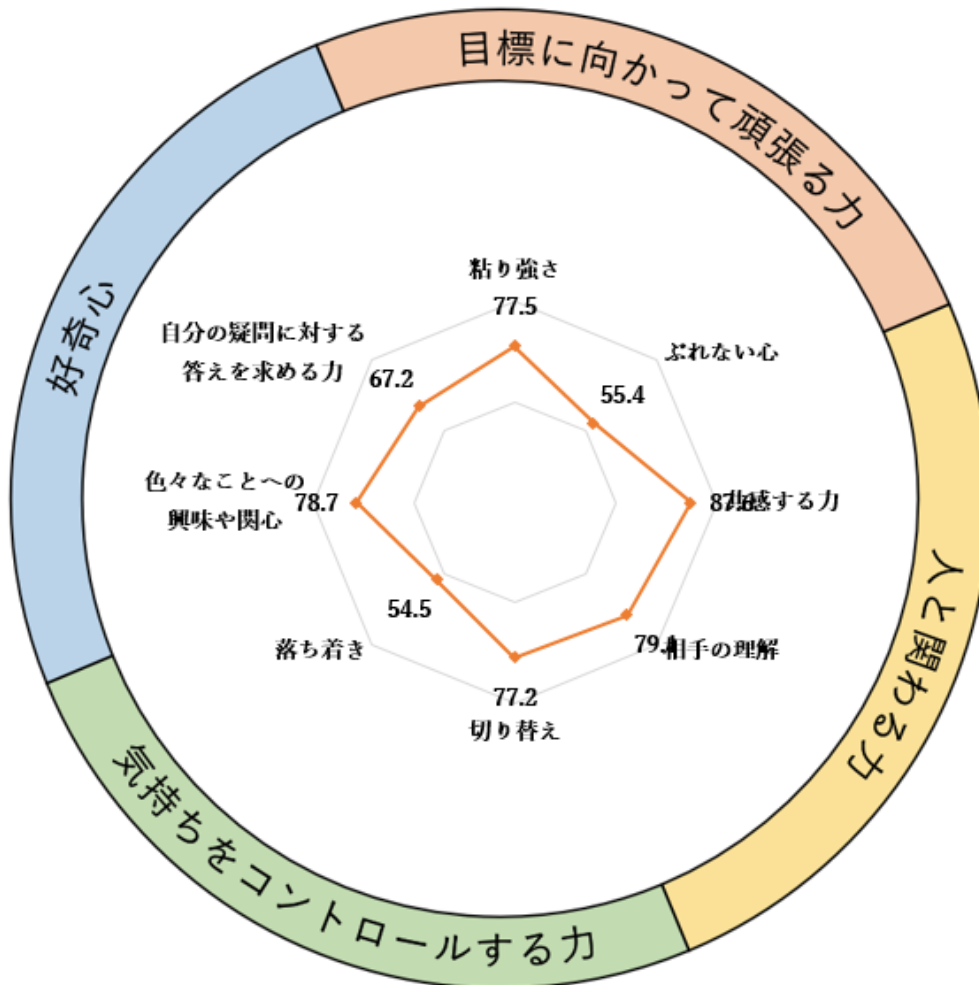


わくわく問題正答率

話し合いをするとき、自分の意見と他の人の意見を比べている。



児童調査の結果



児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計で除して百分率で換算した値
(ポイント=平均÷合計×100)



すくすくウォッチの質問紙調査から分析した枚方市の児童の「未来に向かう力と好奇心」を表したものです。これを見ると、枚方市の子どもたちは、「共感する力」や「相手の理解」で高い数値を示しているのがわかるね。

はじめの問題の解答例は、

【もとにする資料】 資料4

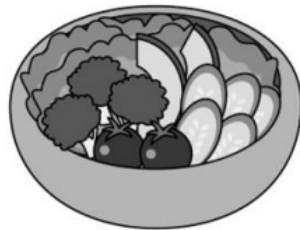
【伝えたい内容】

小学生はもっと野菜を食べる必要があること

【ポスター】

(3)

もっと野菜を食べよう！



毎日350グラム

でした！

